

議会だより

3月定例会

越前市 議会基本条例を 全会一致で可決



本号の主な内容

- 2面 ◆ 予算・条例審査
- 3～4面 ◆ 一般質問
- 5頁 ◆ 委員会審査
- ◆ 常任委員会視察など
- 6面 ◆ 議案等の審議結果

3月市議会定例会において、議会基本条例が全会一致で可決制定されました。この条例は、北陸3県では最初の制定で、本年4月1日からの施行となりました。

本格的な地方分権時代を迎える中、地方自治体の権限と自己責任の範囲が拡大してきていることにより、地方議会を取り巻く環境も大きく変化してきており、そのあり方が問われています。

市議会では、議会の活性化を進めるために、平成19年3月から議会活性化検討委員会を設置し、3年間議論を重ねてきました。

この間、議員自らが地域に出向き、議会活動の状況や市政に関する情報を市民に報告し、市民からは議会に対する意見や、市政に対する要望、提言を受けるための「議会報告会」や「各種団体との語る会」を開催してきました。

この議会基本条例は、8章21条で構成され、市議会の最高法規として、議会と議員の活動原則を定め、市民に情報を提供し、市民参加による開かれた議会を目指すものです。

3月定例会の概要

平成22年第2回越前市議会定例会は、2月26日から3月19日までの22日間に渡って開かれました。この定例会では、市長提出の当初予算案15件、補正予算案8件、条例案12件、一般議案1件が、また、議員から意見書案7件が提案されました。本会議の審議、委員会の審査を経て、採択の結果、いずれも可決しました。

また、一般質問には20人の議員が市政全般にわたって質問を行いました。

5月臨時会の概要

5月14日に第3回越前市議会臨時会が開催され議長の辞職許可後、新しい議長が選出されました。これに伴い、委員会等の委員の選出も行われました。

また、市長から専決承認案4件が提出され、採決の結果、承認されました。

5月臨時会

議会人事

5月臨時会において、福田議長から提出されていた議長の辞職願が許可され、同日、議長選挙が行なわれ、金子芳巧議員が当選しました。



金子 芳巧 議長
期数2期73歳
(政新会)

議会運営委員会委員

川崎 悟司
福田 修治

まちづくり対策特別委員会委員

組合議会議員

武生三國モーターボート競走施行組合
小形 善信



南越養護学校での心身障害児学童保育を



除雪単価の見直しを

一般質問

ここでは、紙面の都合上、1人1項目を選び、質問・答弁を要約し、ジャンルごとにまとめて掲載しました。

【会派の略称】

新世・市民＝新世紀・市民派ネットワーク

公明党＝公明党議員団

共産党＝日本共産党議員団

自 由＝自由クラブ

自治振興

除雪単価見直し

佐々木 富基(新世・市民)
自治振興会の交付金事業として狭隘道路の除雪も6年が経過したが、機

実態に合った見直しを協議していきたい

械除雪が入らないところ、山間部の積雪の多いところなど除雪経費等の実態に合わせた見直しをしていく考えはないか。

答 これまでも自治振興会で同一単価の同意をいただいているが、積雪量に応じた除雪単価を考慮してほしいとの意見も伺っており、今後、自治振興会と十分に協議していきたい。

防災

災害時要援護者への対応

小形 善信(政新会)
災害時要援護者避難支援計画では、避難支援者の確保を目指している

支援者の確保が少ない支援整備を考える

が、災害発生時の地域の現状では要援護者1人に対して支援者が0.7人と少なく対応が出来ないのではないか。

答 越前市災害時要援護者避難支援推進会議において、支援計画の見直しや要援護者に対する支援者の確保について協議し、防災訓練や自主防災組織による支援体制の整備による対応を考えていきたい。

行政

新庁舎建設

玉川 喜一郎(新世・市民)
新庁舎の建設や現庁舎の耐震補強については、議会でも合意形成を図り

任期中での庁舎建設は任期中には厳しい

ながら進めていくべきだが、市長は今期任期中には庁舎の建設開始や建設計画は明らかにしないのか。

答 現庁舎は、平成22年度中に方向性を出したい。新庁舎については、現在の厳しい経済情勢や財政状況下においては、平成25年秋までの市長の任期中に庁舎の建設を行なうことは厳しいと考えている。

今立総合支所

福田 往世(政新会)
今立総合支所の機能評価について、住民は理解しているが、一層の機能

総合支所の権限強化をより機能充実を図る

の充実や住民サービスのため、管内の地域自治を進める上で、企画と執行権の強化を住民は望んでいる。

答 総合支所の機能については、今日まで管内と周辺地域の住民の利便性の向上を念頭に改善を進めてきており、今後も住民に親しまれ、一体感の持てる総合支所となるよう、より機能充実を図っていききたい。

土地開発公社

片粕 正二郎(大志)
越前市の一般会計を中心とした財政健全化指標は健全な水準にあるが、

公社の財政健全化計画は実効性のあるものにした

土地開発公社を清算して一般会計で引き受けること、一挙に指標が悪化するのではないかと、土地開発公社の経営

健全化計画策定にあたり、公社保有土地の買い戻しに起債を活用した場合同、実質公債比率が急激に上がらないように、複数年度で買い戻すなど、公社の将来的な解散も視野に入れながら実効性のある計画にしていきたい。

福祉

緊急医療情報キット

関 利英子(公明党)
緊急通報時に駆けつけた救急隊が、迅速に適切な救命措置をするための

キットの配布をすべし今後、研究していく

情報が入った「救急医療情報キット」を、寝たきりの高齢者や障害者等の要援護者に配布する考えはないか。

答 本市では、一人暮らし高齢者の電話機のそばに緊急連絡表を張る取り組みを行なっている所もあるが、今後、民生委員や社会福祉協議会等と協議しながら、キットのような活用ができないか研究していきたい。

自殺者対策

中西 眞二(政新会)
平成21年には越前署管内で19人が自殺により尊

市としての防止対策は地域で展開できる支援を

て自殺を食い止めさせるための取り組みが必要である。越前市としての自殺防止対策は、地域で自殺予防対策

に力を貸していただけるボランティアを募りながら、その養成講座を計画している。自殺企図者に気づき、必要な専門機関につなぎ、見守っていただけるような個人や組織の活動が、効果的に地域に展開できるよう支援をしていきたい。

保育・教育

教育振興ビジョン

川崎 悟司(政新会)
教育ビジョンは国・県・市が一貫すべきと考

策定の必要性は教育方針に基づいている

えるが、あえて市で策定する必要性と、本市の独自性はどこにあるのか。

答 市の教育方針の指針に基づき、教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めたもので、市の総合計画の理念とその基本政策の元気な人づくりに基づいて、たくましく生きる力を養う教育を実現し、心豊かで元気な人に支えられた町を目指している。

児童館の現状と整備

西野 与五郎(大志)
雇用に対する不安が増加する中、核家族の

未整備地区への対応は整備を検討していきたい

は、子供たちの生活環境にも影響が出ている。児童館の運営と、白山・坂口・神山・北新庄の未整備地区への対応は、

答 児童館等が整備されている13地区は指定管理者に管理を委託している。残る4地区については、厳しい財政状況の中、小学校近辺の既存公共施設の有効活用を検討しながら整備をしていきたい。

学童保育事業

三田村 輝士(新世・市民)
南越養護学校の宿泊棟で実施されている心身障

継続した安定運営を早急に対策を講じる

害児学童保育「杉の子」か。

答 南越養護学校の宿泊棟を拠点に、年間を通じて子どもたちが放課後も安心して過ごせるクラブとするための対策を、早急に講じたいと考えており、県に対しても支援体制の充実を働きかけていきたい。



鳥獣被害が増加しています



有機米を子どもたちの給食に使えないか

産 業 ・ 経 済

福 祉

シビイ問題

越前ブランド

子ども医療費無料化

高齢者社会対策

介護施設の現状

施設の増設は出来ないか 増設を予定している

川崎 俊之(諸派)

特別養護老人ホームの待機者を減らすためには、施設増設が必要で

ないか。
答 空き家、空き店舗の介護事業所への活用については、これまで既に4箇所が開設されており、新年度においても3箇所が空き家、空き店舗を改修して設置される予定となっている。

住みやすい環境づくりは 環境づくりを進める

上山 直行(新世・市民)

高齢者の社会参加は活力ある町、協働の町をつくる大きなマンパワーで

は。
答 高齢者の方々と地域のかかわりは重要である。健康で生きがいを持ち、住み慣れた地域で充実した生活を送れる、そういう社会作りをこれからも進めていきたいと考えている。

市の医療費助成拡充策は さらなる拡充を図る

玉村 正夫(共産党)

県は、今年の10月から子どもの医療費助成について、対象年齢を入院・

答 平成18年から市独自で就学前児童の医療費無料化に取り組んでいるが、県の今回の取り組みを精査して、9月議会を目途に、低所得家庭の児童を中心にさらなる拡充を図りたい。

効果を活かす戦略は 付加価値を高めていく

金子 芳巧(政新会)

これまで伝統産業については、いろいろな振興策がとられてきたが、市

答 越前市は、国府が置かれて以降の長い歴史や伝統文化、伝統産業等のすばらしいものがたくさんある。これらの付加価値を高めていくことは重要な取り組みで、今後も越前ブランドの構築に努めていきたい。

何らかの救済策を 経営者の対応を見極める

題佛 臣一(自由)

シビイの破綻に対して、何らかの手を打たないと大変なことになって

いか。
答 今の経営者が、これからどのような手続きをとるのかはっきりと示してもらえれば、その対応を見極めながら議会にも相談して、市としての対応を十分に考えたい。

水 道

農 業

産 業 ・ 経 済

水道料金

有害鳥獣対策

中山間地の農業保全

学校給食

シビイ問題

経営破綻の責任は 旧経営陣の責任は大きい

城戸 茂夫(政新会)

長年、越前市の商業の核となってきたショッピングセンターシビイの閉

市としての考えは。
答 経営破綻に対する旧経営陣の責任は大きいと考えているが、当時の経営状況を承知して会社を引き継いでおり、今後の経営について説明を行なうのは、現在の経営陣だと考えている。

有機米を学校給食に 現時点では困難

大久保恵子(新世・市民)

現在、越前市の学校給食は地元産の米を使っているが、「コウノトリ呼び

答 有機米については、余りにも現在使用しているコシヒカリとの価格差が大きく、収穫量や安定供給の面、保護者への給食費の負担の増加に大きく跳ね返ってくることもからも、現時点では困難である。

小さい集落に手立てを 今後研究していく

細川かをり(諸派)

中山間地域直接支払制度や農地・水・環境保全向上対策の農地保全に取

答 山間部の戸数の少ない集落は高齢化が進んでいて農地の保全が厳しい状態になっている。高齢化が進んで事業の推進が困難な集落の農地保全対策については、今後の研究課題にさせていただきます。

捕獲従事者の養成は 国の補助事業を活用する

吉田 慶一(公明党)

これから鳥獣被害の増加が予想される中、捕獲従事者の高齢化と後継者

答 狩猟免許取得者の確保については、市の鳥獣被害防止対策協議会において、国の鳥獣被害防止総合対策事業という補助事業を活用して、取得者の確保に向け取り組んでいきたい。

値上げは抑えるべき 経費削減に取り組む

前田 修治(共産党)

市は新年度から水道料金の見直し作業に着手する考えだが、今の厳しい

答 今後徹底した経営改善を行い、一層の経費削減に取り組んでいく。しかし、経営努力だけでは財源確保にも限界があり、必要最小限の料金改定はお願いするが、一般会計からの繰り入れは想定していない。

平成22年度 当初予算決まる

一般会計	321億2,900万円	(前年度比)	8%増
特別会計	199億2,900万円	(前年度比)	2.9%減
企業会計	23億9,000万円	(前年度比)	7.1%減

議案審議

予算審議

放課後児童 クラブ事業

6915万円

問 県は小学校4年生以上の児童を受け入れるため助成制度を拡充することだが、市はどのような取り組みを進めるのか。

答 現在、越前市の放課後児童クラブでは、留守家庭の小学校低学年児童を対象としており、施設規模等の問題から対象年齢の拡充については、今後の課題であると捉えている。

水田農業支援事業

4800万円

問 水田利活用自給力向上事業は減反が条件ではなくなったが、減反として集団で麦や大豆を作った場合に、昨年までの補助金額はどうなるのか。

答 大麦の生産については、水田利活用自給力向上事業では5000円減ったが、周年作に取組むことにより、昨年と同等かそれ以上の補助金が出るような体制になっている。

菊花マラソン大会 開催事業

300万円

問 菊花マラソンの開催時期は菊人形のピーク時でもあり、交通の渋滞や駐車場での防犯の問題もある。以前にあった東運動公園での開催という話はないか。

答 現在のコースは、近隣のエリアに多くの駐車スペースがあり、実行委員会の中では、市街地コースを変更するという意見はなかった。

自然環境 保全対策事業

7699万円

問 コウノトリ武生飛来40周年記念のイベントは、記念事業に終わらせることなく、環境保全と有機農業につながっていく事業にすべきではないか。

答 有機農法研究会関係者、グリーンツーリズム関係者や実行委員会が連携して運営体制を作っていく。



越前市に舞い戻ったコウノトリ(えっちゃん)

環境調和型 農業推進事業

10399万円

問 環境農業推進のため、市単独予算で特別栽培米に取り組む農家を支援することは越前市の先進的な政策である。さらにこの予算を拡充する考えはないか。

答 この市単独の補助事業の上に、国の農地・水・環境保全営農支援事業があるので、集落に呼びかけて、この事業を生かすような方向で取り組んでいる。

地域農業 サポート事業

7300万円

問 中山間地や都市近郊の小区画圃場の条件不利地の作業を支援するものであるが、むしろ耕作放棄地の解消につながるために予算執行をすべきではないか。

答 この事業は全額県費によるサポート支援事業であり、この事業を積極的に活用して、なるべく耕作放棄地にならないように活用していきたい。

サマー フェスティバル 支援事業

16000万円

問 この事業は盛り上がり欠け、今立地区では次年度から不参加の声も聞かれる。もっと親しまれて投資効果が上がって、住民の融和が図れる事業となるように見直すべきではないか。

答 21年度のフェスティバル終了後に、いろいろ

条例審議

議案第27号 越前市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び越前市職員の給与に関する条例の一部改正について

問 残業が月60時間を超える超過勤務については、代休が取れる制度にするとのことだが、忙しい時期には代休も取れない。実際にその制度が運用できるのか。

答 職員の健康管理を含めて、庁舎の消灯時間を9時にするなど取り組んでおり、60時間を超すようなことがないように努力するよう指示したい。

議案第33号 越前市国民健康保険診療所設置及び管理条例の一部改正について

問 国高診療所の廃止に伴い、高齢者の患者に対して、どのようにきめ細かいサービスを行なうつもりなのか。

答 本人の希望をとりながら、市内の病院等に願うするか、無理な場合には福井大学で受け入れていただくようお願いしているところである。

一般議案審議

議案第36号 工事委託協定の変更について

問 家久浄化センターの工事に関しては、できるだけ地元業者を優先して使ってほしいと要望しているが、どれぐらいの額が地元業者に発注されているのか。

答 今回の工事については、機械と電気機器の製作だけなので、地元業者に発注するのは新年度からになる。今後、事業団と工程会議を開く中で、地元業者の下請けや地元産の資材を使ってもらうよう重ねて要望していきたい。

高齢者向け優良賃貸住宅は、市の地域住宅計画において、目標数値や整備年次計画

8904万円

問 この高齢者向け優良賃貸住宅は、市の地域住宅計画の中において、目標数値や整備年次計画は

小学校施設耐震補強・大規模改造事業

4億5617万円

問 工事を発注する際には、市内の業者から地元木材を購入するように指導しているが、今回の耐震工事でもそのように実践されているのか。

答 現時点では、設計仕様書に県産材と指定しており、地元の範囲を福井県内に広げている。



日野川の堤防コースを走る菊花マラソン参加者のみなさん

ごみ減量化推進事業

2453万円

問 大虫小学校と味真野小学校の給食残渣のリサイクルを、今後、他の小学校にも拡大していく計画はあるのか。

答 まず、2校のリサイクルシステムの検証をしているから、今後学校で展開できるのかどうかを考えていきたい。



園児が増え、手狭になってきた家久保育園

委員会審査

市長から提出された議案を審査するため、各委員会が開催されました。
掲載記事は委員長報告の主な内容です。

総務委員会

委員からは、地域自治振興特別事業に対する見直しの内容についてただされま



した。理事者からは、今回の見直しは、監査委員から、ある地区で特別事業として実施している事業であっても、別の地区では通常の事業として取り組んでいるものもあり、差別化が必要であるとの指摘

300万円余に改めたこと。また、2年間の継続事業を認める中で、1事業の限度額を150万円とし、その地区のシンボル的なものを守り育てるといった、地域の特性を活かす記念事業や大規模な事業を対象にしたこと

さらには、委員からは、特別事業については、地域での課題解決のために、より使いやすいものになるよう、今後も検討を続けられたいとの要望がなされました。

教育厚生委員会

委員からは、今回、越前市幼稚園入園料の値上げを行う理由についてただされ



ました。理事者からは、幼稚園の保育料については、4年に1回ずつの見直しを行ってきており、今年度が見直しの年となる。保育料の改正にあたっては、地方交付税の単位費用額に合わせ6,300円に

設定した。子どもの数の減少により、公立幼稚園の総経費の中での保育料の占める割合が年々落ち込んでおり、受益者負担の原則から保育料の改定を行うものであるとの答弁がなされました。

さらには委員からは、幼稚園の保育料の決定については、これまでの経済情勢、市民の暮らしの

状況を判断し、各自治体の裁量で設定できるものであり、越前市の新年度予算の中ですべても値上げをしなければいけないという根拠が見えてこない。越前市としては、保育料の据え置きあるいは引き下げを行うべきであるとの要望も示されました。

産業環境委員会

委員からは、東京えちぜん物語開催事業について、この予算規模で交流事業と



販路拡大事業を行えるのか、また、東京都港区において集客が見込める会場を借りる場合、相当の費用を想定する必要があるのではないかとただされました。理事者からは、今年度予算の大部分は販路拡大事業用であ

る。今後、経費面でも課題を整理しながら、両事業に成果が出るよう検討していく。会場費については、例年、所有者にご協力いただき、あまり費用がかからない形で事業を展開している。今後でもできるだけ工夫しながら実施したいとの答弁がなされました。

建設委員会

委員から、以前、消雪は幹線道路と生活道路を並行して



行っていたと要望したが、今回、生活道路の整備予算が計上されなかった理由についてただされ

ました。理事者からは、まず、既存道路の管理や市道の改良。また、戸谷片屋線が平成22・23年に事業のピークになるため、

市の施行分も県事業と並行して進める必要があること、さらに、できるだけ国の財源が見込めるものは活用していくなどの観点から当初予算に計上した。消雪路線については、通行量が多い路線と県道とのネットワークを進める必要があるため、新年度予算については、幹線道路を優先するような予算

「市民と市議会の語る会」が開催

されました。

本年3月に議会基本条例が制定されたことを受けて、4月28日と30日の両日、市内の6会場において市民と市議会の語る会が開催されました。当日は、大勢の市民の方から活発な意見をいただきました。



北日野公民館



白山公民館

市議会を傍聴しましょう

本会議は、住所、氏名などを記入するだけで、どなたでも傍聴できます。場所は本庁舎別館6階です。来庁は、なるべく公共交通機関を利用するか乗り合わせでお越しください。

丹南CATVで放映中

本会議の様子は、丹南CATVコミュニティチャンネルでご覧になれます。一般質問時には、質問項目一覧を放映するなど、分かりやすい放送に努めています。

議員の派遣について

4月中旬から各常任委員会の行政視察を行いました。視察先と主なテーマは次のとおりです。

総務委員会

- （4月19日・20日）
- ・奈良県大和郡山市 土地開発公社について
- ・和歌山県和歌山市 土地開発公社について

教育厚生委員会

- （4月20日・21日）
- ・静岡県富士宮市 地域福祉ネットワークについて
- ・埼玉県東松山市 ノーマライゼーションのまちづくりについて

産業環境委員会

- （4月20日・21日）
- ・大阪府茨木市 産業振興事業について
- ・鳥取県境港市 観光推進事業について

建設委員会

- （4月12日・13日）
- ・新潟県柏崎市 まちなか再生プロジェクトについて
- ・新潟県上越市 除雪対策について

Table with columns for '議員名' (Councilor Name), '賛否' (Support/No Support), and '審議結果' (Deliberation Result). Rows include various budget items and ordinance amendments.

Table with columns for '議員名' (Councilor Name), '賛否' (Support/No Support), and '審議結果' (Deliberation Result). Rows include specific ordinance amendments.

○：賛成 ×：反対 △：継続 議：議長 欠：欠席
新世・市民：新世紀・市民派ネットワーク 公明：公明党議員団 共産：日本共産党議員団 自由：自由クラブ

議員の寄付禁止のルール
公職選挙法により、選挙区内での議員の寄付行為が禁止されています。...

議会史(旧武生市)を販売中
完結編を発売しました。
第一巻：明治維新～昭和30年 7,000円
第二巻：昭和31年～49年 9,000円
第三巻：昭和50年～平成8年 10,000円
資料編：議会だより縮刷版 6,500円
完結編：平成9年～平成17年 6,000円

市議会事務局
TEL (22) 34266

編集委員会
委員長 城戸 茂夫
副委員長 細川かをり
委員 三田村輝士
委員 関 利英子
委員 題佛 臣一
委員 西野与五郎
委員 前田 修治

議会だより編集委員会
議会だより編集委員会は、昨年の6月から議会だよりのリニューアルに向け、議論を重ねてきました。今回、ようやく発行にこぎつてきたことが出来ましたが、まだまだ、改良の余地があります。市民の皆様率直なご意見をいただながら、より、読んでいただける議会だよりを目指していきたく思っています。

